

ふは新の郷

— 第22号 —

令和5年（2023年）1月発行
発行者 一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
山口県山口市大手町9-6
TEL 083-928-5432
FAX 083-928-5436
（障害者ホットライン専用）
TEL 083-928-5580
E-mail: webmaster@syogai-yamaguchi35.jp
http://syogai-yamaguchi35.jp



山口県知事 村岡 嗣政

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、より良い年となりますことを心

からお祈り申し上げます。

山口県身体障害者団体連合会におかれましては、平素から、県の取組と連携いただきながら、障害者福祉の向上に向けた活動を積極的に取り組んでおられますことに、心から敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

コロナとの闘いは、3年の時を経て、その様相を変えつつあり、長い間停滞を余儀なくされていた社会経済活動は、正常化に向かって進んでいます。

この間、貴連合会の皆様におかれましては、感染拡大防止等の取組に格別のご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

3年にわたって続くコロナ禍は、人々の意識や価値観を大きく変え、働き方やライフスタイルに至るまで、

様々な変化をもたらしました。

県では、これらの変化をチャンスと捉え、今後の県政運営の指針として昨年末に策定した新たな総合計画「やまぐち未来維新プラン」に基づき、県民誰もが山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に取り組んでまいります。

とりわけ、障害福祉の向上については、昨年10月に制定した、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」に基づき、障害を理由とした差別の解消や、障害理解の促進に向けた取組を一層強化し、障害のある方が住み慣れた地域で自立し、安心して生活していくことのできる共生社会の実現に向けた取組を、さらに推進してまいります。

こうした取組を進めるためには、今後とも、貴連合会の皆様のたゆまぬお取組やお力添えが大きな力になると考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、山口県身体障害者団体連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
会長 宮原 博之

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より連合会運営にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症については、ここへ来て感染者が増加傾向にございますが、長丁場に備え改めて感染拡大を予防する基本的感染防止策を講じて、ウィズコロナ新しい生活様式での日々を送っていかなくてはならないかと思えます。

さて、昨年10月「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」が施行されました。この条例では令和5年4月1日より民間の事業者にも“合理的配慮”が義務化とされております。

“合理的配慮”は障害者の社会参加や障害者雇用の面に於いて、最も評価し期待するところであり、非常に重要なことでもあると思います。障害の医学モデルではなく、社会モデルとして、今後もますます経済社会活動の様々なシーンに障害者が溶け込んでいけるよう、障害者の特性や不自由な点をより多くの方々に理解を深めていただけるきっかけとなればと考えております。

末筆ではございますが、本年が皆様にとってより一層素晴らしい一年となりますようにお祈り申し上げます。



一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
常務理事 大下 博

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、平素より当連合会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、障害者の社会参加推進に関する事業に、ご支援を頂いております皆様方に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年10月11日に公布・施行された、障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例は「不当な差別的扱い」を禁止し、現在法において努力義務とされている事業者による「合理的配慮の提供」が令和5年4月1日から義務化され、さらには紛争解決の仕組みも整備されます。私は、新しい年を迎え、障害者にとっても、障害がある人もない人も、県民が暮らしやすい条例となるよう強く望むものであります。

ところで、私こと、令和4年5月17日をもって、一般社団法人山口県身体障害者団体連合会（山口県障害者社会参加推進センター）会長の職を退任いたしました。在職中は皆さま方の暖かいご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。今後とも障害者の福祉向上のために微力ながら尽力してまいりますので、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この1年が、皆様にとりまして、良い年となりますことを心よりお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

令和4年度 山口県身体障害者・知的障害者相談員研修会

令和4年10月4日 場所：山口県社会福祉会館（山口市）

身体障害者相談員、知的障害者相談員として必要な知識を修得するとともに、その役割について自覚を高め、日頃の相談活動の円滑な推進を図ることを目的に開催しました。



講演Ⅰ 「障害者施策の推進について」

講師：山口県健康福祉部 障害者支援課

講演Ⅱ 「人権に関する取組の考え方」（やまぐち県政出前トーク）

講師：山口県環境生活部 人権対策室

講演Ⅲ 「紡ぎだすアートが人と街をつなぐ」

講師：アートマネージャー 松村 瞳 氏

講演Ⅳ 「成年後見制度について」（やまぐち県政出前トーク）

講師：山口県健康福祉部 厚政課

令和4年度 わくわく体験教室・ステップアップいきいき講座

花の寄せ植え講座（第2回） 令和4年10月1日 場所：しらさぎ会館（山口市）

講師に正しい花の植え方、その後の育て方を教わりながら、第1回講座（7月）とは雰囲気の違いの違う秋の花を植えました。「前回の花がまだ家で咲いてるよ！」等、嬉しい言葉もいただきました。視覚障害のある方に花の色や置く位置を言葉で伝えたり、車いすを使用されている方へ花の苗を持って行ったり、障害のある人もない人も一緒に協力し助け合い、穏やかな時間を過ごしました。



令和4年度 わくわく体験教室・ステップアップいきいき講座

書道講座（第2回・第3回） 令和4年9月25日、10月23日 場所：しらさぎ会館（山口市）

講師から文字のバランスや筆の動かし方等のアドバイスをもらいながら、それぞれ好きな四字熟語や言葉を自由に書き、山口県障害者芸術文化祭の応募作品展示会へ向けての作品制作をしました。個性豊かな作品が出来上がり、中には、近所の子供たちを車の事故から守るための看板作りに取り組む方もいました。



障害者アートセミナー（第1回）

令和4年10月22日 オンライン

障害福祉サービス事業所職員、障害のある方、ご家族、アートに興味のある方、福祉関係者等を対象に、障害のある人もない人も、アートを通じて自分らしさや多様性を互いに認め合うきっかけづくりとなるセミナーを開催しました。



講師には、具体的な事例を交えながら、分かりやすくお話をいただきました。

また、今回は学生も多く参加してくださり、幅広い方々にセミナーを受講していただきました。

★栄えある受賞おめでとうございます★

山口県身体障害者団体連合会会長表彰を受賞され、令和4年11月10日に山口県総合社会福祉大会にて表彰式が行われました。

会長表彰	下関市	田 邊 ヨシ子	下関市身体障害者団体連合会
	萩市	古 谷 孫 一	萩市身体障害者団体連合会
	萩市	吉 光 傳	萩市身体障害者団体連合会
	阿武町	西 村 眞 治	阿武町身体障害者福祉協議会
功労表彰	下関市	高 石 愛 子	下関市身体障害者団体連合会
	下関市	藤 重 友 江	下関市身体障害者団体連合会
	下関市	山 多 和 明	下関市身体障害者団体連合会
	山口市	平 井 武 重	山口県腎友会
	山陽小野田市	佐々木 勇 蔵	山陽小野田市障害者協議会
	山陽小野田市	末 永 勝 美	山陽小野田市障害者協議会
	山陽小野田市	宮 川 力 雄	山陽小野田市障害者協議会
模範障害者表彰	下関市	江 本 幸 雄	下関市身体障害者団体連合会
	防府市	末 綱 広 輝	山口県腎友会

令和4年山口県選賞を受賞され、令和4年11月18日に山口県庁にて表彰式が行われました。

社会福祉功労	吉 村 隆 さん	山口県身体障害者団体連合会副会長
社会福祉功労	今 津 邦 彦 さん	田布施町心身障害者協議会会長

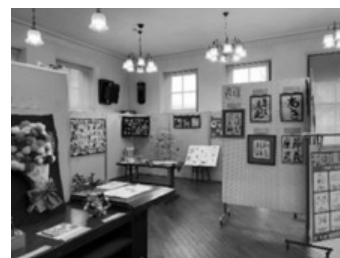
第28回 山口県障害者芸術文化祭

応募作品展示会 令和4年11月22日～12月1日 場所：山口県政資料館

今年も多くの作品が出展され、一つ一つの作品からは作者の気持ちが伝わり、一生懸命に作品制作に取り組む姿が浮かんできました。

作品出展数は絵画 134点 書道 20点 写真 36点 手工芸 45点 文芸 10点 俳句短歌 36点 特別出展 4点です。また、11月17日に審査会を開催し、最優秀賞/優秀賞/特別賞を決定しました。

P 4,5,8に受賞作品を掲載しています。



式典 令和4年12月3日 場所：山口県旧県会議事堂

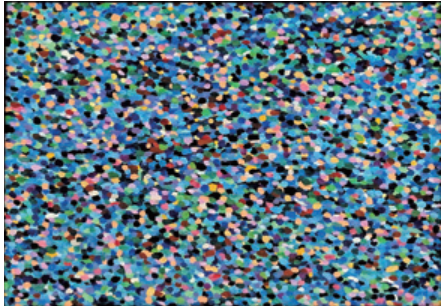
村岡県知事の挨拶に始まり、応募作品381点の中から選ばれた28点の受賞者（部門：絵画、書道、写真、手工芸、文芸、俳句短歌）の表彰式、最後にフォトセッションを行いました。栄えある受賞おめでとうございます。



応募作品展示会受賞作品 優秀賞・特別賞 ※最優秀賞はP8に掲載しています。

優秀賞（山口市長賞）

絵画『イワシの群れ』
さくら ゆき（周南市）



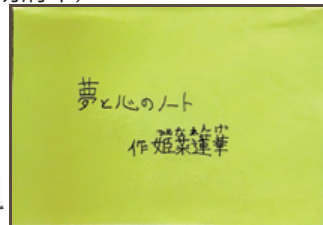
手工芸
『持続可能なナチュラル・エコ水族館』
生活介護事業所ぽっけ（山口市）



写真『あ〜！あと少しだったのに』
谷口 英雄（山口市）



文芸
『夢と心のノート』
姫菜 蓮華
（防府市）



書道『温故知新』嶋田 浩伸（萩市）



松井一男

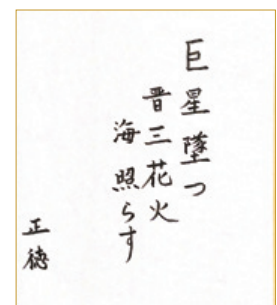
俳句短歌『早春の萩 阿武川』松井 一男（山口市）

優秀賞（山口県社会福祉協議会長賞）

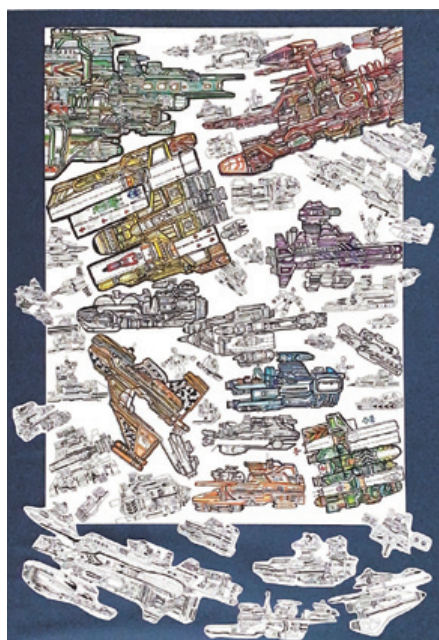
写真『静かな波紋』三井 秀典（山口市）



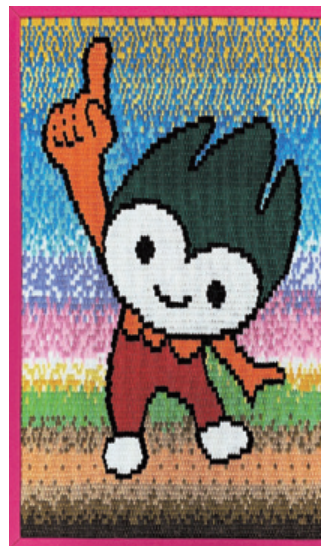
書道『書「花」』
佐々木 美香（下関市）



俳句短歌『長州シックス』
山根 正徳（周南市）



絵画『時空』宮崎 大樹（山口市）



手工芸
『ONEチーム』柳井病院デイケア（柳井市）



文芸『23のコメント』升谷 健一（周防大島町）



優秀賞（山口市社会福祉協議会長賞）

写真『すっぴんなんで…』
吉村 隆（山口市）



手工芸
『ほおずき実る』
咲良（宇部市）



書道
『笑顔』
下瀬 教子（防府市）

絵画『プロ野球をみているボク』
村田 秀明（周南市）



特別賞（山口県障害者社会参加推進センター所長賞）

絵画『秋なすをおいしく。』
河野 千穂（防府市）



手工芸
『暖簾〜花と楽器のアンサンブル〜』
大石 富美子（長門市）



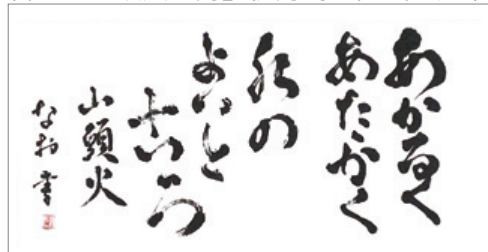
絵画『はるがきたよ』松田 匠人（防府市）



写真『自然の造形』廣石 美津枝（山口市）

俳句短歌『タツ君がメダルを取りし春の昼』
宮崎 篤（田布施町）

書道『山頭火の詩』伊勢嶋 直（山口市）



第28回山口県障害者芸術文化祭 WEB配信

チャンネル名
「山口県障害者社会参加推進センター」

受賞作品やステージ発表を
どうぞ動画でお楽しみください★



応募作品展示会 受賞者による集合写真

県身連加盟団体紹介

下関市身体障害者団体連合会の活動報告

この団体は下関市在住の障害者の団体です。活動としては山口県や下関市の障害者スポーツの参加、福祉活動の参加、団体のレクリエーションとして花見や梨狩り、みかん狩り、日帰りの小旅行などを開催しております。会員さんの中には海峡マラソンの車イスの部に参加した方もいます。

最近はコロナウイルス拡大のため行事が中止になったりバスなどの乗員規制や県外には出られないので余り活動は出来ていません。

コロナウイルスが落ち着けばまた、会員さんと元気に活動を進めて行きます。

松尾洋一郎



リボン運動☆みなさんはいくつ知っていますか??

No.13

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけ、支援を表明するために身につけるアイテムを“アウェアネス・リボン”と言います。アウェアネスとは、気付き・認識という意味です。

そして、身につけたりブログに載せたりして周囲に理解と支援を広めようとするのがボランティア活動にもなります。

13、グリーンリボン

世界的な移植医療のシンボル

グリーンは成長と新しいいのちを意味し、“Gift of life”（いのちの贈りもの）によって結ばれた臓器提供者（ドナー）と移植が必要な患者さん（レシピエント）のいのちのつながりを表現しています。グリーンリボンは、移植医療を通して、臓器を提供してもいいという人と移植を受けたい人が結ばれ、よりたくさんのいのちが救われる社会の実現に向けた、『移植医療』の理解促進、普及、及び啓発につながる取り組みを表しています。なお、10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認する日「グリーンリボンデー」としています。



グリーンリボンキャンペーンHP 参照

リボンの色と意味

1イエロー	障害者の自立
2オレンジ	児童虐待
3シルバー	発達障害
4パズルリボン	自閉症
5ピンク	乳がん
6ホワイト	妊産婦の命を守る
7きみどり	親子の絆
8透明	見えない障害
9うぐいすリボン	表現の自由
10そら色	性同一性障害
11レインボー	同性愛
12ゴールド	小児がん
13グリーン	移植医療普及
14レッド	エイズ
15ブラウン	北方領土返還・禁煙
16ティール&ホワイト	子宮頸がん
17ブラック	哀悼・ネット上の自由
18フラグリボン	9.11の犠牲者へ
19パープル	女性に対する暴力根絶
20ブルー	拉致問題

リボンの種類は他にもあります

障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例

がR4年10月11日に公布・施行されました。

障害を理由とする差別を解消し、県民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的とした条例です。



関係機関・団体紹介

国立県営 広島障害者職業能力開発校

障害のある方々に、就職につながる知識や専門的な技術、技能を習得していただくために、国が設置し、広島県が委託を受けて運営する職業能力開発施設です。授業料は無料です（教科書・資格取得に係る受験料・作業服等の費用は自己負担） また、一定の要件を満たす方は、寮に入ることができます。

ただいま令和5年度4月入校生募集中です。

募集期間 令和5年2月2日（木）まで

訓練期間	訓練科目	募集人数
2年	CAD 技術科	12名程度
	情報システム科	3名程度
	Web デザイン科	5名程度
1年	OA ビジネス科	15名程度
	音声パソコンコース (OAビジネス科)	2名程度
	事務実務科	8名程度
	総合実務科	23名程度
6か月	チャレンジコース (総合実務科)	4名程度

※詳しくは、ホームページ 又は、お問い合わせください。



校舎の風景



実習風景 (Webデザイン科)

【お問い合わせ】 広島障害者職業能力開発校

〒734-0003 広島市南区宇品東四丁目 1-23

TEL 082-254-1766 FAX 082-254-1716

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/188/>

又は、居住地を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）



一般財団法人 山口県手をつなぐ育成会

【第47回手をつなぐ育成会福祉・教育振興山口県大会（岩国ブロック大会）】

コロナ禍で3年振りとなった山口県大会を今年度、岩国市で開催いたしました。感染拡大の影響で急遽初めてのリモート開催になりましたが、式典、ご本人発表、基調講演「知的・発達障害における 8050 問題」、実践発表「儘（まま）でいい！ 儘（まま）がいい！ 超参加型音楽活動 MLAP の実践報告」と今の現状について発信できたことは大きな成果であったと思います。

次年度はぜひ顔が合わせて実施できるようになってほしいです。



《問い合わせ先》

山口県手をつなぐ育成会事務局（担当：青木）

〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内

Tel 083-925-2424 Fax 083-925-2212

一般財団法人山口県知的障害者福祉協会【第32回山口県知的障がい施設福祉振興大会（山口市）】

令和4年11月17日（木）山口県教育会館で3年ぶりとなる振興大会が開催されました。

講演では片桐公彦氏（社会福祉法人みんなでいきる 理事・元厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課 障害福祉専門官）を講師に招き「障害者虐待防止について～報酬改定に込めたおmoi～」をテーマにご講演いただきました。来年こそは満員の会場で保護者・利用者の方を含め、たくさんの皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



一般財団法人山口県知的障害者福祉協会（事務局担当：小野 香）

〒753-0072 山口市大手町9-6社会福祉会館内

TEL:083-925-2424 FAX:083-925-2212

E-mail:yamachifuku@alpha.ocn.ne.jp

山口県障害福祉サービス協議会（障サ協）

研修会（予定）のお知らせ

研修会テーマ：「障害福祉サービス事業所・施設における障害者虐待を考える」

日 時：令和5年3月9日（木） 午後2時から午後4時まで

会 場：山口県社会福祉会館 4階 大ホール

講 師：萩・山口法律事務所 弁護士 山口正之 氏

参加費：会員 3,000円

非会員 6,000円

案 内：令和5年1月下旬頃、
障サ協ホームページ等にて
御案内いたします。



《問い合わせ先》

山口県障害福祉サービス協議会（障サ協）事務局

E-mail: syougai@yg-you-i-net.or.jp

障サ協HP URL: <https://ymg-sfs.jp>

TEL: 083-924-2799 FAX: 083-924-2798

〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 総務企画部 福祉振興班

応募作品展示会

最優秀賞（山口県知事賞）受賞者感想

絵画『生態を崩さないで』埴村 朋彦（山陽小野田市）



僕はこれまでに毎年、絵画や手工芸等の作品を出展してきました。ある年に貼り絵を思いつき、僕の大好きな駅の風景で賞をもらいました。すると嬉しくなりました。だから今度も同じように好きな生き物を描いてみようと思いました。僕は日頃、製陶所で働いているので、夜や休日の製作となりましたが、なぜか楽しくてしかたありませんでした。小さな頃から、生き物のことや自然界のことに興味があったからかもしれません。だから、なるべく、きれいに描いてあげようと思いました。

写真『河骨の葉の下で』藤井 辰也（宇部市）

この度は受賞により、多くの方からお祝いの言葉などを頂きまして、大変嬉しく思っています。

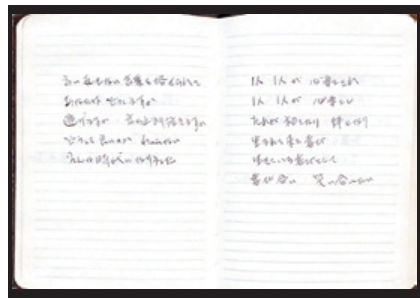
受賞の写真についてですが、糸トンボの羽化の美しさが伝わるように考え、時間を忘れて熱中して撮影しました。

こうして写真を撮影できるのも、障害がある私を支援してくださる多くの方のおかげで、とても感謝しています。

頂いた賞を励みにして、これからもより良い写真が撮れるように頑張りたいです。ありがとうございました。



文芸 『理（り）』
藤本 マリア（山口市）



悲しい出来事の中、これでもかと言う程の報道、もう駄目、無理だと何度か諦めようと思った時、あきらめないとと言う力が背中を押してくれました。泣きながら書き、誰かの力になればと書いたページ。村岡県知事さんより頂いた賞状の重みが、今でも忘れることが出来ません。純粋な子供の様な喜びを味わった事は確かです。暗い心の中に、笑顔を頂いた事、心より感謝致します。ありがとうございました。



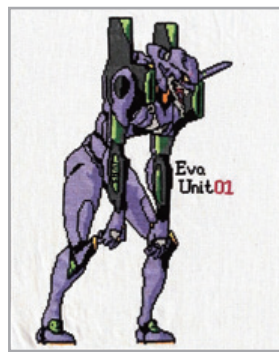
書道『絆』
高橋 郁子（周南市）

最優秀賞を頂き有難うございました。何歳まで筆が持てるか、手が震え出したら書く事が難しくなります。私も80才になりましたので頑張ります。当日はとても冷たい朝でした。皆様の作品も最も良かったですね。来年も頑張って提出しようと思われたのでは。目的があると頑張りますもの

ね。知事さんが気持ちよく二人ショットで撮って下さり嬉しかったです。県職員の方々が朝早くから準備にお疲れ様でした。ありがとうございました。

手工芸『エヴァンゲリオン』田辺 奈緒美（山陽小野田市）

この度は、名誉ある賞を頂き真にありがとうございました。私がこのエヴァンゲリオン初号機の刺繍をしたきっかけは、原作・監督である庵野秀明さんの出身地である宇部市の代表とするアニメ



メエヴァンゲリオンをモチーフとした刺繍をしたと思ったからです。製作期間は3カ月程かかり、一番力を入れた所は同じ色の糸でも影をつけることで迫力が増したり動きが出る所が一番大変だったかなと思います。この県知事賞を頂けるとは思ってもいませんでした。家族総出で展示を観に行き喜びました。これからも自身の障害と向き合い刺繍を続けていこうと思います。

思いもよらぬ最高賞を頂き、感動しました。選んで下さった方々に、きっと私の気持ちが通じたのだと感謝しました。我が家の軒に巣を作り秋になると巣立って行ってしまった。生まれ育った我が家が故郷ではなかったか。私の孫も卒業すると我が家を離れて音信もとだえがち。きっと次の人生を生きるステップをはばたいて頑張っているのだろうと挑戦する力を見守っています。沢山の力作を出展して頑張る皆様に感動しました。デイサービスの職員にすすめられ90才でも頑張れる。手が不自由、足が不自由でも挑戦する元気を頂いたことを感謝いたします。

俳句短歌『秋』左野 律子（山口市）
故郷はいつか旅立つ秋つばめ
左野 律子



この機関誌の一部は共同募金配分金により発行されています